

## 2020年度 学習支援計画書

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
共通専門科目	スポーツ指導論 [Coaching Method]		2			
授業形態	担当教員名			科目コード		
講義	川井 明			NSM-S2026		
この授業に関する資格						
この授業のキーワード			授業概要			
1	スポーツ指導法	前半は、競技上の成功者の例から、その要素・要因を探り、毎時間、理解度確認レポート提出。 後半は、指導現場に有効なロジカルコミュニケーションの基礎を学習して実際のディベートに備える。さらに、指導現場でのタイムリーなトピックスを随時取り上げてその背景とともに理解していく。				
2	指導者の資質と役割					
3	ロジカルコミュニケーション					
学習の到達目標						
成功したアスリートに関する指導法を理解したうえで、過去に受けた指導との比較から現状や個人に適した指導法を探ることができる。指導者としてのロジカルコミュニケーションを理解したうえで、有効・的確・シンプルな伝え方を習得する。指導現場でのトピックスの背景を理解できる。						
回	テーマ	授業内容	AL			
1	ガイダンス他	スポーツ指導者とは その資質と役割				
2	指導者の倫理	スポーツ指導者の倫理：マナーと体罰・ハラスメント他	○			
3	指導者の心構えと視点	スポーツ指導者の心構え・視点と指導現場でのスタンス	○			
4	発育・発達と一貫指導	プレゴールデンエイジ、ゴールデンエイジ、ポストゴールデンエイジにおける特性とその一貫指導	○			
5	タレント発掘と選手育成	世界に通用するアスリートを発掘・育成していくための方法を探る	○			
6	指導計画の作成	指導上のピリオダイゼーション（期分け）とテーマに則ったコーチング	○			
7	スポーツ活動と安全管理	活動に関わる危険性を理解し、安全に指導するための方法を理解する	○			
8	選手と指導者の関係	選手の心理と対コーチ受容およびコミュニケーション	○			
9	ロジカルコミュニケーション①	情報のとらえ方および指導者の話し方と伝え方	○			
10	ロジカルコミュニケーション②	指導者の用いる言葉とその使用方法	○			
11	コーチング方法の実際	ミーティング、シンクロコーチング、フリースコーチング他	○			
12	トップアスリートの育成①	育成・強化の在り方と指導者の役割	○			
13	トップアスリートの育成②	指導者の資質と持つべき視点	○			
14	トップアスリートの育成③	育成・強化の方法とその評価	○			
15	まとめ	良い指導者の資質と役割等についてのグループディスカッションから本科目をまとめる				
試験等	筆記試験					
教科書及び参考図書						
参考図書：公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ、Ⅱ（公益財団法人日本スポーツ協会）						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 1.5 時間）： 体育・スポーツに関する情報を、新聞やニュース・雑誌・インターネットや書籍等を通して収集すること。 事後学習（週 1.5 時間）： 授業中の内容を復習すること。						
課題に対するフィードバックの方法						
理解度確認レポートの回収後、フィードバックを行う。						
成績評価の目安と方法						
理解度確認レポート 70% 平常点 20% 筆記試験 10%						
評価	成績評価別の到達度					
S	毎時の指導に関する課題を深く理解したうえで、各自の考えや将来の展望を論理的にまとめることができる。					
A	毎時の指導に関する課題を理解したうえで、各自の考えや将来の展望をまとめることができる。					
B	毎時の指導に関する課題を理解したうえで、各自の考えをまとめることができる。					
C	毎時の指導に関する課題を理解したうえで、各自の感想をまとめることができる。					